

理学療法専門職 の規制

ポリーステートメント

© World Physiotherapy 2023
www.world.physio



推奨引用: World Physiotherapy. Policy statement: Regulation of the physiotherapy profession. London, UK: World Physiotherapy; 2023. Available from: <https://world.physio/policy/ps-regulation>

理学療法専門職の規制

世界理学療法連盟は、認知され評価されたシステムによる理学療法専門職の規制を提唱する。これらのシステムは、理学療法士の責任ある自己管理を含む仕組みを通じて、一般市民の保護を保証するものでなければならない。

専門職規制のモデルは国によって異なり、政府のシステム、医療システム、および専門職の歴史を含む多くの要因に影響される。効果的であるためには、どのような規制システムであっても、そのシステムが実施される経済的、政治的および文化的背景を考慮に入れなければならない。

世界理学療法連盟は、理学療法士は専門職または外部の規制機関によるライセンスまたは登録を含む法的システムを通して規制される場合があることを認識している。あるいは、国によっては理学療法士が専門職団体の会員基準を満たすことで、専門職が規制されている場合もある。

理学療法は国際的に認められた医療専門職であり、有資格の理学療法士によってのみ実施されなければならない(1)。州または国の法律で定められている場合、理学療法を実践するための有効な登録/免許を保持する権利および/または理学療法士という肩書を使用する権利がある(2)。規制法がない場合、理学療法士は、その国の世界理学療法連盟の加盟組織が存在する限り、その会員資格を通じて認められる。

世界理学療法連盟は、公益に焦点を当てた規制制度に向けて取り組むことを加盟組織に奨励する。このような制度は、専門職に対する信頼と信用を促進する。この制度は、適切に教育を受けた有能な理学療法士のみが **physical therapist** または **physiotherapist** という名称を使用できることを保証する仕組みを通じて達成することができる(2)。

効果的な規制は、以下の 6 つの主要な要素を持つ:

- 有資格の理学療法士が、質の高い教育を提供する教育プログラムを卒業し、エントリーレベルの実践基準を満たすことの保証
- 継続的な専門的能力または熟練度の基準の保証
- 職業倫理および行動基準の有無
- 認可/規制/認定された理学療法士の登録の維持
- 確立された実践基準への不遵守に対処する仕組み
- エントリーレベルの実践基準では達成できない、新しいまたは高度な実践範囲に対処する仕組み

これらの重要な要素は相互に関連しており、特に一般市民の安全を守るために、公益に資する規制アプローチを支える柱となるものである。多くの場合、効果的な規制は、専門家の教育、業績、行動、能力に関する基準を規制システムの中に埋め込むことで実現できる。これらの基準は、実践者のコンプライアンスを監視・育成し、コンプライアンス違反を管理する仕組みとともに、専門職が一般市民を保護するための手段を提供するものである。

世界理学療法連盟は、一般市民が認可/規制/認定された理学療法士について、適切な機関に報告または苦情が言えるような仕組みがあることを保証するよう、加盟組織に奨励する。現代の苦情処理機構には、「コマンド&コントロール」方式やより懲罰的なアプローチだけでなく、調停や和解などの問題解決方式が含まれる。

世界理学療法連盟は、加盟組織が以下のような規制制度を構築することを奨励する:

- 理学療法を実践するために必要な免許/規制/認定の資格を定義する。
- **physical therapist** および **physiotherapist** の名称の使用を、認可/登録/認定された理学療法士に限定する(2)。

-
- 理学療法を実践するための能力の基準を設定し、監視する。
 - 専門職を実践するための認定を求める申請者の能力を保証するプロセスを確立する。
 - 認可／登録／認定された理学療法士が、継続的な専門能力開発および実践の維持の要件などの能力を維持することを保証するプロセスを確立する。
 - 認定／登録／認可された理学療法士による理学療法の実践のための基準を設定し、監視する。
 - 認可／登録／認定された理学療法士に関する苦情に対処するプロセスを確立する。
 - 認可／登録／認定された理学療法士に関する苦情の調査結果を処理するためのプロセスを確立する。
 - 規制機関の公平性と独立性を確保しながら、高水準の教育、実践および専門性を開発、確保、実践、維持しながら、規制機関との協力的な話し合いを支援する。

世界理学療法連盟は、理学療法を実践するための要件が以下のような規制システムを支持するよう、加盟組織に奨励する：

- 国籍、人種、民族、文化、性別、性的指向、信条、社会的地位に関係なく、すべての志願者に対して同じであること(3)。
- 専門教育、経験、および／または能力の評価に関連した、公正で客観的、かつ透明性のある基準に基づくこと。
- 有能な理学療法士のみが **physical therapist** または **physiotherapist** の称号を使用し、実践できることを保証するために必要以上に負担をかけないこと(2)。
- 当該国における理学療法士の供給を規制することのみを目的としたものでないこと。
- 分かりやすい言葉で表現されていること。
- 理学療法士の責任ある自己管理を含むこと。

世界理学療法連盟は、加盟組織に対し、立法／規制／承認のシステム開発に関する世界理学療法連盟ガイドラインを会員に助言することを奨励する。

[用語集 \(https://world.physio/resources/glossary\)](https://world.physio/resources/glossary)

Accreditation (認定要件)

Competence (コンピテンス)

Codes of practice/conduct (業務／行動規範)

Equity (公平性)

Licence/registration (ライセンス／登録)

Professional ethics (職業倫理)

Professional regulation (専門職の規則)

Protection of title (名称の保護)

Regulated profession (規制される職業)

Regulatory authority (規制機関)

Standards of practice (実践基準)

Approval, review and related policy information	
Date adopted:	<p>Approved at the 17th General Meeting of WCPT in June 2011</p> <p>Replaced the Position Statement: regulation and reciprocity, approved at the 14th General Meeting of WCPT May 1999 which was revised and re-approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007. Standalone policy statement on reciprocity developed 2011.</p> <p>Revised and re-approved at the 18th General Meeting of WCPT May 2015</p> <p>Revised and re-approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019</p> <p>Revised and re-approved at the 20th General Meeting of WCPT May 2023</p>
Date for review:	2027
Related World Physiotherapy policies:	<p>World Physiotherapy policy statements</p> <ul style="list-style-type: none"> • Protection of title • Education • Reciprocity – mutual professional recognition • Standards of physiotherapy practice • Diversity and inclusion <p>World Physiotherapy guidelines:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Guideline for standards of physiotherapist practice • Guideline for the development of a system of legislation/regulation/recognition of physiotherapists

References

1. World Physiotherapy. Policy statement: Education. London, UK2023 [6 Nov 2023]. Available from: <https://world.physio/policy/ps-education>.
2. World Physiotherapy. Policy statement: Protection of title. London, UK: World Physiotherapy; 2019 [6 Nov 2023]. Available from: <https://world.physio/policy/ps-protection-title>.
3. World Physiotherapy. Policy statement: Diversity and inclusion. London, UK: World Physiotherapy; 2019 [6 Nov 2023]. Available from: <https://world.physio/policy/ps-diversity>.

© World Physiotherapy 2023